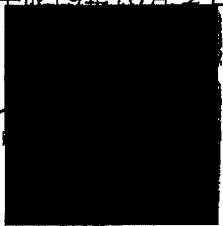


(様式第9)

国 循 発 1245号
平成19年10月2日

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

国立循環器病センター
院長 友池 仁



国立循環器病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	128人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	125人	128人	221.0人	看護業務補助	22人	診療エックス線技師	
歯科医師		2人	0.3人	理学療法士	7人	臨床臨床検査技師	59人
薬剤師	22人	9人	28.7人	作業療法士		衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	1人	検査その他	
助産師	14人		14.0人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	549人	4人	552.0人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	1人
准看護師				栄養士	3人	その他の技術員	6人
歯科衛生士				歯科技工士		事務職員	53人
管理栄養士				診療放射線技師	39人	その他の職員	19人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	539.2人	0.0人	539.2人
1日当たり平均外来患者数	757.5人	2.7人	760.2人
1日当たり平均調剤数			692剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	29人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スクレーピングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7/人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ 無	人
超音波骨折治療法	有・ 無	人
眼底三次元画像解析	有・ 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	13人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	194人
・多発性硬化症	6人	・ウェグナー肉芽腫症	0人
・重症筋無力症	3人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	263人
・全身性エリテマトーデス	26人	・多系統萎縮症	2人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	2人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	21人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	0人	・原発性胆汁性肝硬変	1人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	14人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・結節性動脈周囲炎	0人	・混合性結合組織病	10人
・潰瘍性大腸炎	9人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	76人	・特発性間質性肺炎	26人
・ビュルガー病	0人	・網膜色素変性症	4人
・天疱瘡	0人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	8人	・原発性肺高血圧症	144人
・クローン病	0人	・神経線維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	24人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	23人
・アミロイドーシス	1人	・ラインゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	54回	
剖検の状況	剖検症例数 21例	剖検率 39.2%

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生体内安定性と抗菌性発現の制御機能を持ったインテリジェント型インプラント材料の開発	古菌 勉	生体工学部	5,980,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
体性幹細胞を用いた血管の再生と微小欠陥造影による臨床評価	永谷 憲歳	再生医療部	4,420,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
超高感度分析を目的とした携帯用試料表面微量ガス採取システムの開発と多目的応用	下内 章人	病因部	8,151,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
自律神経制御による心筋梗塞の画期的治療法の開発：非侵襲的頸部吸引装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	6,721,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
患者に合わせて鍼刺激を自動調整し、ヒト自律神経を確実に治療するサーボ電気鍼臨床実用装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	6,500,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
組織再生用バイオキャストフォールドの開発	藤里 俊哉	再生医療部	15,400,000	補委 科学技術振興調整費
自己細胞移植再生医工学における細胞播種手技の確立とPETによる組織再生過程の追跡	山岡 哲二	生体工学部	6,085,000	補委 原子力試験研究費
心不全の診療支援のためのSPECT/PETによる新しい心臓機能解析の技術開発と臨床評価	石田 良雄	特殊病棟部	2,268,000	補委 原子力試験研究費
PET胸部検査における体動補正システムの開発と定量的心筋機能評価の迅速・高精度化	渡部 浩司	放射線医学部	5,724,000	補委 原子力試験研究費
マイクロSPECTを利用した機能画像の定量化と循環器病の実験的治療研究への応用	飯田 秀博	放射線医学部	9,717,000	補委 原子力試験研究費
非侵襲的神経新生誘導技術の開発と実験的損傷脳への応用	柳本 広二	病因部	6,370,000	補委 文部科学省科学研究費
呼気ガス質量分析診断法の開発と臨床応用	下内 章人	病因部	6,240,000	補委 文部科学省科学研究費
循環器系人工組織のプレインプラントーションによる体内自己組織化	中谷 武嗣	臓器移植部	22,620,000	補委 文部科学省科学研究費
緊急使用および長期使用が可能な抗凝固療法不要の次世代型PCPS装置の実用化開発	巽 英介	研究評価室	11,050,000	補委 文部科学省科学研究費
造血幹細胞特異的吸着性表面を有する生体吸収性スキャホールドを用いた血管組織再生	山岡 哲二	生体工学部	3,200,000	補委 文部科学省科学研究費
動脈硬化惹起性高トリグリセリド血症の成因診断法の確立・予防法および治療薬の開発	池田 康行	病因部	5,000,000	補委 文部科学省科学研究費
RasファミリーG蛋白質Rap1・R-Rasによる血管内皮細胞間接着の研究	望月 直樹	循環器形態部	3,500,000	補委 文部科学省科学研究費
糖尿病予防の長期介入研究－実践支援型教材による長期効果の有効性の検討	岡山 明	予防検診部	3,900,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血栓性血小板減少性紫斑病の原因遺伝子ADAMTS13の研究	宮田 敏行	病因部	4,400,000	補委 文部科学省科学研究費
恒久的使用を目的とした次世代型体内埋込み式補助人工心臓システムの総合実用化研究	本間 章彦	人工臓器部	4,900,000	補委 文部科学省科学研究費
総合的人体シミュレーションを目指したバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	中沢 一雄	研究機器管理室	8,190,000	補委 文部科学省科学研究費
ターボ血液ポンプの適用範囲拡大を目指したポンプの多段化に関する研究	築谷 朋典	人工臓器部	4,030,000	補委 文部科学省科学研究費
循環器機能異常とそれに起因する臓器障害メカニズムの解明	沢村 達也	脈管生理部	9,880,000	補委 文部科学省科学研究費
ペプチドーム解析に基づく組織特異的なプロセッシング予測法の開発	南野 直人	薬理部	7,020,000	補委 文部科学省科学研究費
光コヒーレンス断層法による脳微小循環と神経活動の時空間カップリングの解析	関 淳二	生体工学部	900,000	補委 文部科学省科学研究費
微小振動入力法による心筋細胞の時変エラストランス測定法の開発	宍戸 稔聡	循環動態機能部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
健康推進活動を目指す疾患関連遺伝子の新規網羅的変異部位釣り上げ法の開発と応用	高木 敦子	薬理部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
フォンビルブランド因子切断酵素ADAMTS13の生理生化学的解析	小亀 浩市	脈管生理部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
Ca ²⁺ 結合タンパク質NCS-1の細胞死抑制作用：その発見と分子機構の解明	西谷 友重	循環分子生理部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
Nkx2-5の発現と心筋分化誘導・決定に関わる転写調節因子の同定と解析	日高 京子	バイオサイエンス部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
安静時代謝量を用いた代謝症候群の予防法に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
新たに同定した摂食調節関連ペプチドの機能解析および新規摂食調節ペプチドの探索	宮里 幹也	生化学部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
ダイアリス法による虚血心筋傷害と再灌流心筋傷害の定量解析	高内 裕司	手術部	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
コンピューター制御による、急性心筋梗塞後の循環管理を支援するシステムの開発	上村 和紀	循環動態機能部	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
筋スクレオチド代謝とAMP活性化プロテインキナーゼに関する機能解析	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
カーボンナノ粒子のエピジェネティックな遺伝的影響と機能	丹羽 保晴	疫学部	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心筋症・心不全発症における伸展刺激感受性チャネルの病態的役割	岩田 裕子	循環分子生理部	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費
生理活性ペプチドの細胞分化促進作用を応用した新しい動脈硬化治療法の開発	堀尾 武史	第一病棟部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
BNP-3bの心・血管系における生理作用および病態生理学的意義の解明	日野 純	生化学部	2,600,000	補委 文部科学省科学研究費
変異導入方を用いたβ3インテグリンに関わるシグナル伝達分子の同定	本田 繁則	病因部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
脳虚血後の環境要因が与える脳機能再生メカニズムの解明：脳血流量と神経再生との関連	横田 千晶	第一病棟部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
心拍出量を増加させる閉ループ心周期人工呼吸の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
チミジンホスホリラーゼによる肺腺癌浸潤能増強作用の分子機構の解明	佐田 誠	臨床検査部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
心筋内移植細胞に対して機械的補助循環が与える力学的特性に関する研究	本間 章彦	人工臓器部	500,000	補委 文部科学省科学研究費
日常生活活動におけるストレスの定量的評価法の開発と臨床応用	下内 章人	病因部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
ストレッチ感受性Ca ²⁺ チャネルを標的にした筋変性疾患治療薬物の開発	若林 繁夫	循環分子生理部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
循環調節ペプチドを用いた新たな難治性肺炎治療の開発	永谷 憲歳	再生医療部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
虚血性心疾患・動脈硬化症の早期診断におけるFDG-PET検診の有用性に関する研究	福島 和人	放射線診療部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
埋め込み型医用機器使用時の感染防御に有用な新規皮膚貫通部被覆デバイスの開発	巽 英介	研究評価室	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
新しい原理に基づく低エネルギー除細動法の開発に関する基礎研究	稲垣 正司	循環動態機能部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
トロポニン・トロポミオシン複合体のX線結晶構造解析	武田 壮一	心臓生理部	7,020,000	補委 文部科学省科学研究費
光学式トラッキング装置を用いた腫瘍検査のための画像自動重ね合わせシステムの開発	渡部 浩司	放射線医学部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
RNAi法を用いたヒトがんの増殖、進展の制御の研究	孫 春蘭	バイオサイエンス部	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
脳賦活時の脳血流・酸素代謝解離現象のメカニズム	林 拓也	放射線医学部	800,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。